



明日への道

進路だより No.12

2月23日発行

長崎県の暮らしやすさ・長崎県で働く魅力

右の表を見てください。長崎県の初任給額は、全国で下から4番目に低いのです。これだけ見ると、「長崎県で働いて、良い暮らしができるのかなあ？」と不安になるかもしれません。

しかし心配ご無用。長崎県で生活すると、出ていくお金も少なくてすむのです。東京と比較してみると・・・

食費	75%
家賃	65%
娯楽費	60%

など、多くの支払いは約7割で済みます。

◇ 初 任 給 額 ◇

	都道府県名	金 額
1位	神奈川	17万8500円
2位	東京	17万7900円
3位	埼玉	16万6300円
⋮		
42位	高知・鹿児島	14万4600円
44位	長 崎	14万4500円
45位	青 森	14万3600円
46位	秋 田	14万2000円
47位	沖 縄	13万8500円
	全国平均	16万 900円

確かに、交通など都会よりも不便な面もありますが、
地元で働くことには魅力もいっぱいです！



生活コストが安い

都会は食費、光熱費、家賃等の生活コストが高い！実家暮らしであれば、自分の趣味にお金を使うことも、貯金することもできます。

ストレスが少ない

都会では時間に追われ日常的にストレスを感じる事が多いのですが、地元では自然を身近に感じながらストレスの少ない生活が送れます。

家族や友だちが近くにいる心強さ

初めての就職では、精神的にも不安定となりがちですが、家族や友だちが近くにいることで、安心して生活することができます。

親や家族が安心する

自分も家族もお互いに何かあったときにすぐに駆けつけることができるため、安心です。

生活面

ゆとりある生活を送ることができる

通勤時間が短く、ラッシュ等もないため、時間のゆとりができ、趣味や余暇が充実します。

帰省にかかるお金と時間が浮く

実家暮らしなら、お金も時間も不要。近くに住むなら、とても楽にすみます。

仕事面

地元貢献できる

地元の企業で働くことにより、地域・ふるさとの活性化に貢献できます。

土地勘が生かせる

外回りや営業などの業務は、土地勘があることで時間効率も上がり、社内や対外的にも印象が良くなります。

昨年度の卒業生（就職36名）

島内就職15名中 離職1名（6.7%）

島外就職21名中 離職6名（28.6%）

※島内の離職率は島外の1/4以下！

今年の3年生も39名就職のうち、約半数の18名が島内に残ります。ふるさとの活性化のために頑張ってください！

子育てがしやすい

子どもができた場合に、身近にいる親からアドバイスをもらったり、たまに預かってもらったりなど、無理のない子育てができます。

人生設計がしやすい

生活費にもゆとりができやすく、将来的に庭付き一戸建ての家を建てるなど、現実的なこととして考えやすくなります。

地域・ふるさととのつながりが強まる

これまでに培った絆や、同じ地域・ふるさとに住む人との関わりの中で、知りあいが増え、地域とのつながりがさらに強まり、安心感が生まれます。

将来的には・・・

これから進路を決める1・2年生へメッセージ

自己実現を果たすために取り組むべきこと 江頭先生（2年連続3学年主任）

①先生（先に生きている人）の言うことを実践しよう

君たちの年齢・経験では、先生の言っていることの全てを理解するのは正直なところ難しいと思います。よって難しく考えずに、先生の言葉を信じて実践するのみ。自分の可能性がどんどん広がると信じてください。信じるこそ。必ず最後に「信」は勝つ。

②できるだけ早く目標を持とう

何でもそうですが、目標がないと人間がんばれませんから。この2年間で200人近い生徒を送り出すことになりますが、早く目標を定めた生徒ほど必ず第1志望の内定・合格を勝ち取っています。

③欠席をなくそう

欠席がない（少ない）生徒は、進路選択の幅が広がります。欠席が多いと選択の余地はありません。少々の体調不良では絶対に休まないこと。



最後に・・・進路相談できる先生を見つけよう。話しかけやすい先生は人それぞれ違うと思うので。私や阿比留先生でよければ、毎日「進路保健室」で君たちを待っています！